

いわき市保育士実態調査
報告書

【概要版】

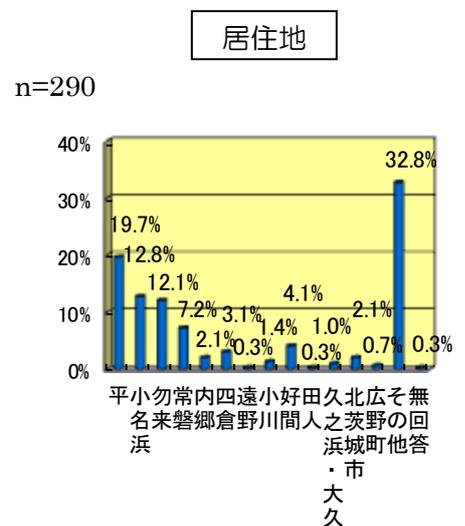
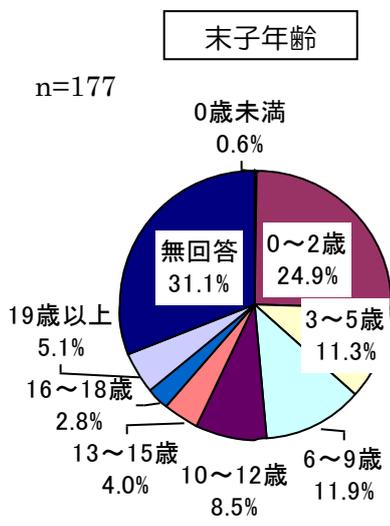
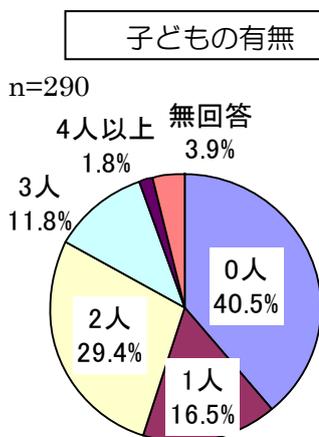
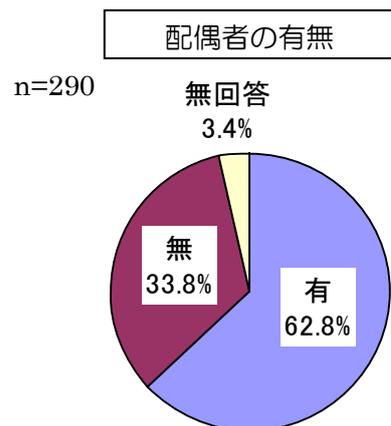
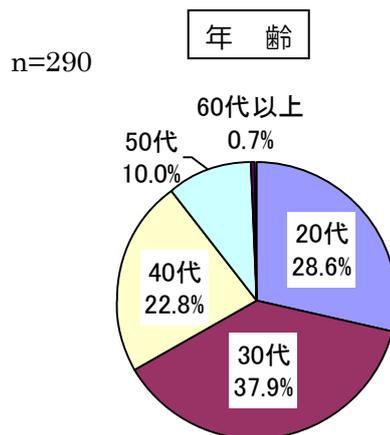
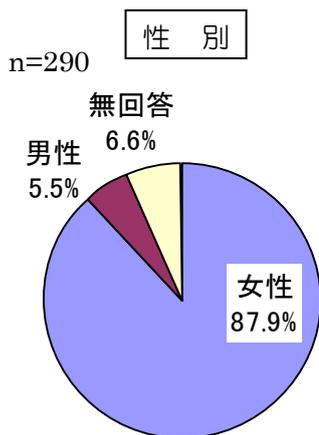
平成 27 年 3 月
いわき市

いわき市保育士実態調査報告書（概要版）

1 いわき市保育士実態調査概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査目的 | 本調査は、保育士資格を持つ方の現在の就労状況や保育施設への就労意欲等を把握することにより、今後の支援策に役立てることを目的として実施 |
| (2) 調査対象 | いわき市唯一の保育士養成校であるいわき短期大学幼児教育科を卒業した方
3,280名（同窓会様のご厚意で協力いただいております。） |
| (3) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (4) 調査実施期間 | 調査票発送：平成26年12月25日から 返送期限：平成27年2月28日まで |
| (5) 回収数 | 有効回収数 290件 |
| (6) 調査項目 | 対象者のプロフィール、現在保育士就業者の実態、過去保育士就業経験者の実態、
保育士就業未経験者の実態、いわき市保育人材確保事業の案内送付希望有無 |
| (7) 調査実施機関 | いわき市 保健福祉部 子ども・子育て支援室 子育て支援課 |

2 調査対象者のプロフィール

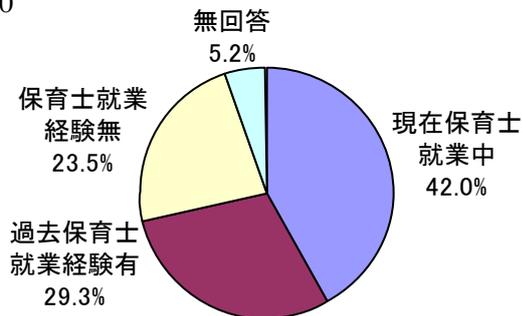


※ 回答率（%）は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。

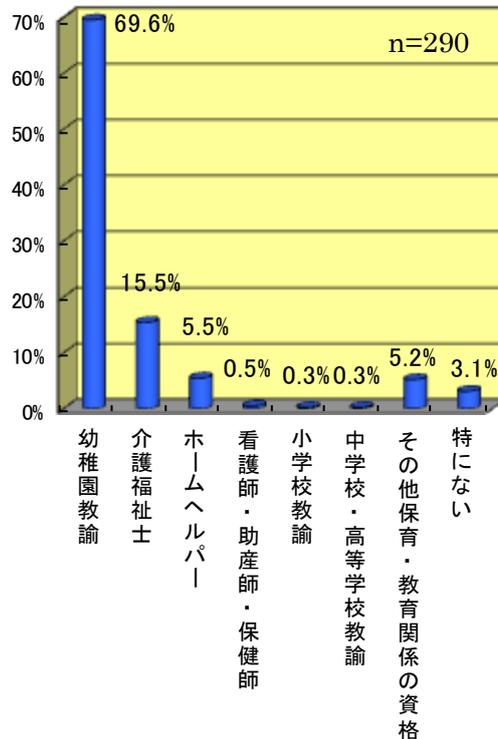
3 保育士有資格全体の実態

現在の就業状況

n=290



保育士資格以外に取得している資格

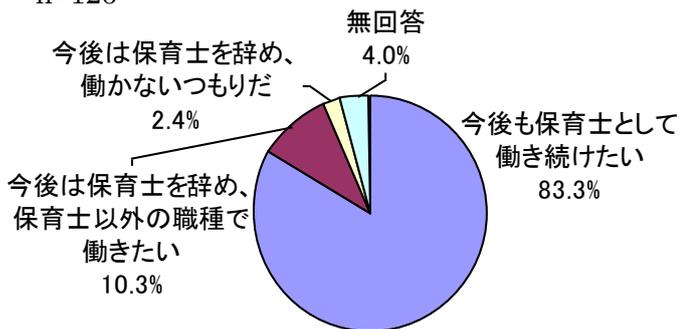


- 調査回答者のうち、現在保育士として就業中なのは約4割であった。しかし、現在の就労状況に関わらず、保育士を経験した人の割合は7割を超えており、多くの人が資格・免許を活用し、保育に携わったといえる。
- 保育士資格以外に取得している資格については、幼稚園教諭が69.6%と最も高い。

4 現在保育士就業者の実態

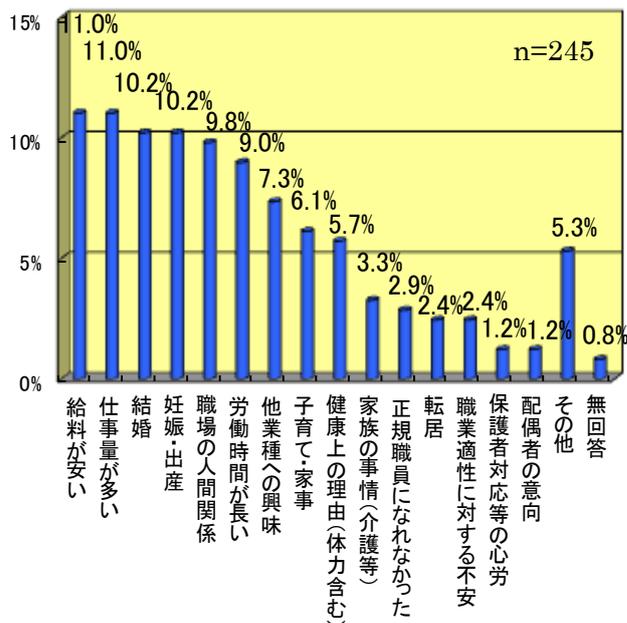
現在保育士の就業継続意向

n=126



退職意向理由

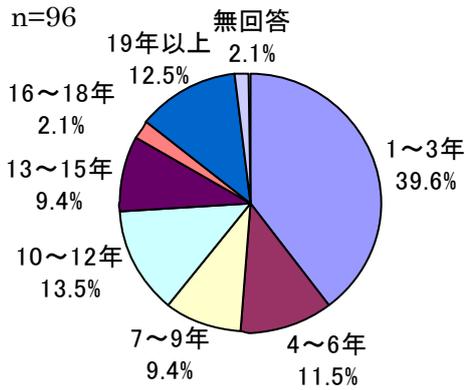
(過去保育士就業者の退職理由も含む)



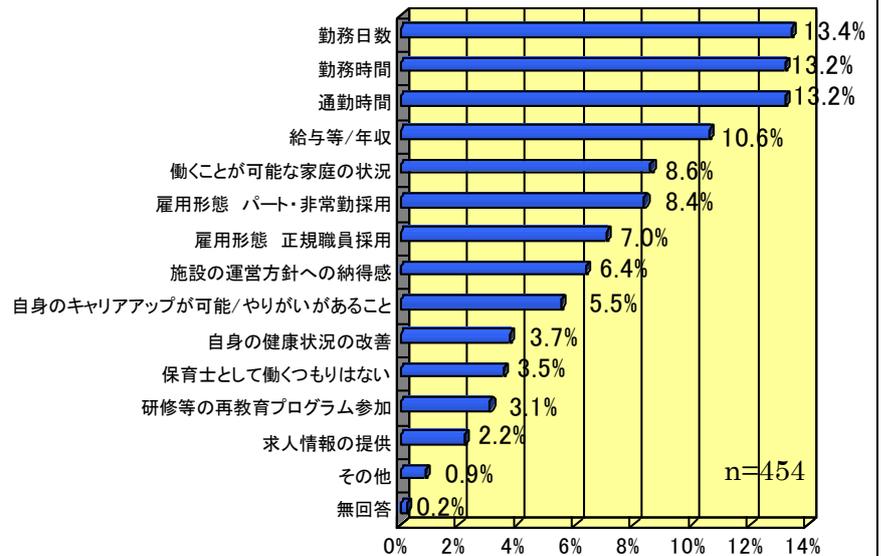
- 退職意向理由の上位は「給料が安い」「仕事量が多い」「結婚」「妊娠・出産」となっている。
- 「職場の人間関係」や「労働時間が長い」、「職業適性に対する不安」なども一定数挙げられており、職場環境や保育士として自信のなさなども要因として考えられる。

5 過去保育士就業経験者の実態

保育士を辞めてからの年数



保育士再就業時の希望条件

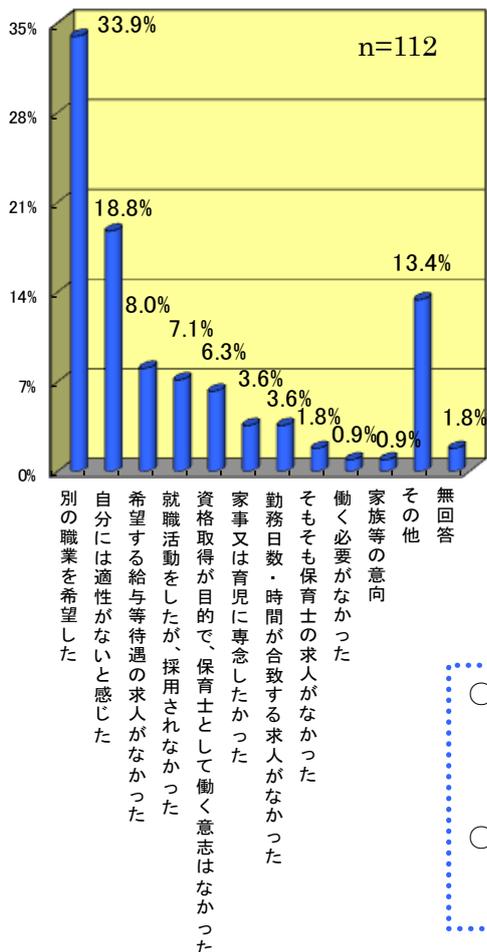


○保育士を辞めてからの年数は「1~3年」が39.6%と最も高い。

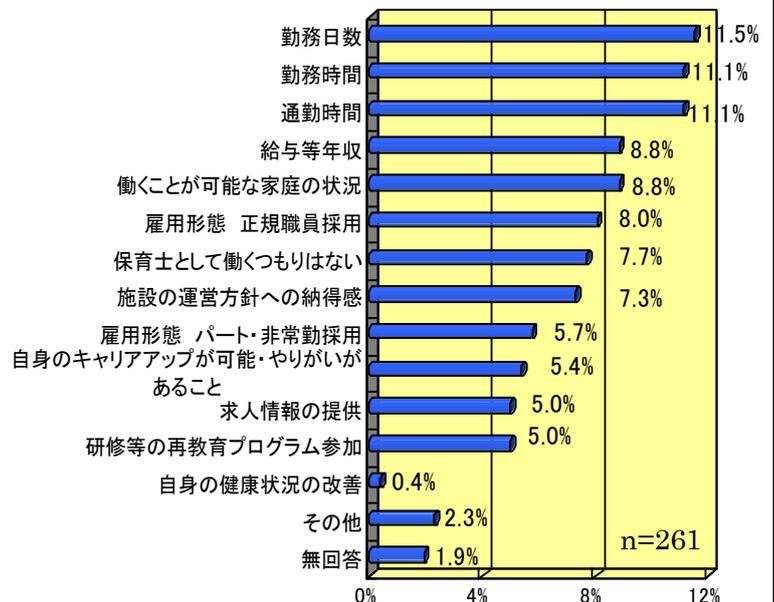
○再就業時の希望条件のTOP3は「勤務日数」「勤務時間」「通勤時間」を挙げており、家庭と両立できる働き方を条件としている人が多いことがわかる。

6 保育士就業未経験者の実態

保育士として就業しなかった理由



就業時の希望条件



○保育士就業未経験者の就業しなかった理由は、「別の職業を希望した」が3割弱と最も高く、介護職や幼稚園教諭などが挙げられている。

○就業時の希望条件については、多くの潜在保育士が、条件がかなえば保育士として就業する可能性を持っているといえる。